

兵特振会報

発行：兵庫県特別支援教育振興会
会長：柏 由紀夫

〒651-0062
神戸市中央区坂口通 2-1-1
兵庫県福祉センター 3F
兵庫県立特別支援教育センター内

コロナ禍を経て～特別支援教育の理念の実現へ～

兵庫県特別支援教育振興会副会長
(兵庫県特別支援教育諸学校長会長)

村松 好子



令和2年4月、兵庫県内の学校園が新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休業になりました。その年に入学した生徒たちが、この春卒業します。その間、各学校園所においてこれまでの教育活動を見直しながら、子どもたちの学びを止めないように工夫を重ねてきました。また、一人ひとりの生き方や状況が違うことに気づき、誰もが生きやすい「共生社会」がこれまで以上に意識されてきています。

特別支援教育においても、国の施策は、医療的ケアが必要な児童生徒に対する支援や、就学前や卒業後、学校下校後を対象にしたものへと広がり、兵庫県でも新たな取組が展開されています。例えば、令和4年6月に、医療的ケア児等の様々な相談に総合的に対応する拠点として「兵庫県医療的ケア児支援センター」（医療福祉センターきずな内）が開設されました。特別支援学校における医療的ケアの充実を目指した多職種連携などについても議論が重ねられています。また、学校卒業後の生涯学習を支える仕組みづくりに関する調査研究や学びの場づくりの実践や周知も進められています。これらのことから、様々な関係機関が連携し、社会全体で「障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する」という特別支援教育の理念の実現に向けて着実に進んでいます。

特に県としては兵庫県特別支援教育第三次推進計画において「連続性のある多様な学びの場における教育の充実」「連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実」を2本柱に特別支援教育を推進しています。ほぼ、コロナ禍の中で実施され来年度が5年計画の最終年、検証の年となります。この3年間には、新たな視点を持ち、次につながる課題に気づけたようにも感じます。今後さらに、より力強く前進させていかなければという機運が高まっているのではないのでしょうか。私たち一人ひとりが関係する人々と連携することで、それぞれの立場で、私たちにできる子どもたちの自立と社会参加に向けた環境整備・支援やその取組が広がっていくことを切に願っています。

本振興会 各部会の活動紹介

啓発活動部会

令和4年度 自立・理解推進会議



講演の様子

12月5日、令和4年度自立・理解推進会議を洲本総合庁舎にて開催しました。近年のコロナ禍により令和2年度は中止を余儀なくされ、令和3年度は兵庫県特別教育振興会設立50周年記念事業の一環として行われたため、単独での開催は3年ぶりとなりました。感染状況が落ち着きつつあるものの、まだ予断を許さない状況だったことに加え、久しぶりの開催であること、場所が淡路であることを考慮して規模を縮小した形での開催しました。淡路開催で参加者が集まるのか、新型

コロナの波はやってこないか、と当日を迎えるまでは気をもみましたが、ほとんどの席が埋まるほど多くの皆様に参加していただきました。

当日は兵庫教育大学大学院教育研究科の小川修史先生をお招きし、「多様性を『楽しむ』という発想で、一緒に考えてみませんか？」という演題でご講演いただきました。小川先生のご講演は福祉におしゃれを、と4人でパリコレに挑んだ話で、実際にパリコレのために作られた着脱しやすい、おしゃれな洋服を見せていただきました。小川先生のご講演が、好奇心や探究力などのいわゆるワクワクする力が人間には大切であることや、凸凹を隠す時代から凸凹を活かす時代へ、など、心に響く言葉がたくさんあり素晴らしいものであったこと、規模を縮小したことにより会場全体に一体感が生まれたことにより、時間が過ぎるのを忘れ、素敵なひと時を過ごすことができました。

【加藤 佳子（兵庫県立あわじ特別支援学校 校長）】

調査研究部会

「特別支援教育・・・兵庫」の発行

県内の特別支援学校等の紹介冊子として「令和4（2022）年度特別支援教育・・・兵庫」を作成し、各学校園等に配布しました。



進路開拓部会

研究協議会

令和4年度も2回の研究協議会を実施しました。第1回の研究協議会は、令和4年8月9日(火)、神戸市立友生支援学校で実施しました。本研究会の所属校から集約した課題をもとに分科会後、Associa Social Support KOBEの相談支援専門員である伊井統章様より『特別支援学校と福祉事業の連携構築～よりよい連携体制構築のために～』という演題でご講演いただきました。特定相談支援事業所について、実際の事例から進路先や関係機関のよりよい連携についてお話しいただき

ました。また、他の自治体の事例を交えて自立支援協議会の活用についてもお話しいただきました。家庭を含めた進路指導や支援について学ぶ機会となりました。第2回研究協議会は、令和4年12月9日(金)神戸市総合教育センターにて、株式会社オリィ研究所人材紹介事業 FLEMEE の加藤寛聡様と牧野美保様に『障がいの有無に関わらず自分の強みを活かした



グループディスカッションの様子

キャリアの考え方』について演題にご講演いただきました。在宅ワークや遠隔操作ロボットなどのICT技術を活かした、新たな進路選択の可能性についてお話しいただきました。また、当事者の視点から定着を踏まえたポイントをご教示いただきました。講演の後は、中小企業家同友会の方もご同席いただき、進路課題に応じて4グループに分かれてグループディスカッションを行いました。



グループディスカッションの様子

教育分野・ICT技術を活用した企業・地域の企業の方々とディスカッションし、それぞれの立場でできることを考える研究協議会となりました。新しい情報や発想、多様な視点を進路担当者も学び続けていかなければならないと改めて考えさせられる有意義な研究協議会になりました。

【森岡 由衣 (神戸市立友生支援学校 教諭)】

進路開拓部会

兵庫県高等学校進路指導研究会
特別支援学校部会との合同部会（見学会）

屋内での講演

本年度は、令和4年11月4日（金）、
「三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘」を見学しました。平成21年4月に設立された「三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘」は、三木市社会福祉協議会が運営している通所施設で、「生活介護」「自立訓練（機能訓練）」「自立訓練（生活訓練）」「就労継続支援B型」の4事業を展開しています。看護師・セラピストが在籍し、医療的ケアの方にも対応した体制が整っています。また、障がい児者に対する日中一時支

援事業や障害児入浴サービス事業も行っています。

今年度の見学会も、コロナ禍のため午前・午後の2部制となりましたが、県内27校の特別支援学校の進路指導担当35名が参加しました。サービス管理責任者の高垣様より施設概要、事業紹介、地域交流活動等についての説明があり、利用者の自立や生活の維持、就労に向けてどのような願いや希望をもって日々取り組みをされているのかが熱く伝わってきました。また、在学中に「自分から動く力」と「誰に対しても挨拶ができること」を生徒たちが身につけられるよう、学校で支援してほしいとお話もありました。

施設見学は、屋外から窓越しの見学となりましたが、それぞれの事業の特徴や活動の様子を見せていただきました。利用者の働く意欲を高めるため、目標設定や作業量のグラフ化をしたり、働くことと報酬をわかりやすい形で利用者の方に伝えたりする工夫がされていました。見学者からは、多機能のよさを改めて感じ、特に自立訓練事業についての理解が深まりとてもよかった、という声が聞かれました。また、質疑応答での様々な質問に対し、丁寧に回答いただき、有意義な見学会となりました。



屋外からの見学

【小山 真永（兵庫県立のじぎく特別支援学校 教諭）】

当振興会関係団体 活動報告のコーナー

全国肢体不自由教育研究協議会兵庫大会

今年度、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会主催の第68回全国肢体不自由教育研究協議会を兵庫県で開催しました。本大会は、昭和32（1957）年から全国各地を会場に開催してきた歴史と伝統のある研究協議会です。令和2,3年度は、新型コロナウイルスの影響で動画配信のみの開催でしたが、兵庫大会は、令和4年11月17日、姫路市「アクリエひめじ」で、人数を制限した会場開催と、後日その様子と分科会・ポスター発表を動画で配信する、ハイブリッドで開催しました。会場には56名、動画配信には186校の参加がありました。

大会テーマを「肢体不自由教育の充実をととした共生社会形成の推進 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指して～」とし、文部科学省初等中等教育局視学官 菅野和彦様から「肢体不自由教育に期待すること」との演題でご講話を、兵庫教育大学名誉教授 富永良喜様から「肢体不自由教育の今後～高等部卒業後の豊かな生活をめざして～」との演題でご講演いただき、特別支援教育の専門性向上につながる多くのご示唆やご助言をいただきました。また、分科会20本・ポスター89本の発表があり、最新の情報や特色ある取組み等幅広い内容で、コロナ禍ではありますが、子供たちへのより良い指導・支援のために、そして指導力向上のために、全国の先生方の学び続ける熱い姿勢を感じ、大変心強く思いました。

このような大会を通して全国の先生方と学び合えることで、県内の肢体不自由学校の先生方はもちろん、特別支援教育全体の振興にも意義あるものであったと感じています。今後も、様々な学びを通して特別支援教育が益々発展し、子供たちの未来が輝く共生社会の実現を目指して歩みを進めることができますよう、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



記念講演



実行委員長挨拶

【兵庫県特別支援学校肢体不自由研究協議会 会長 小寺 英樹
(尼崎市立あまよう特別支援学校 校長)】

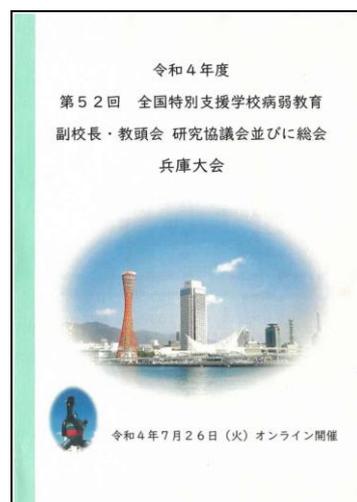
全国特別支援学校病弱教育副校長・教頭会研究協議会兵庫大会

令和4年7月26日、全国から86名の参加者と2名のご来賓をお迎えし第52回全国特別支援学校病弱教育副校長・教頭会研究協議会並びに総会兵庫大会を開催しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWeb会議システム（Zoom）での開催としました。

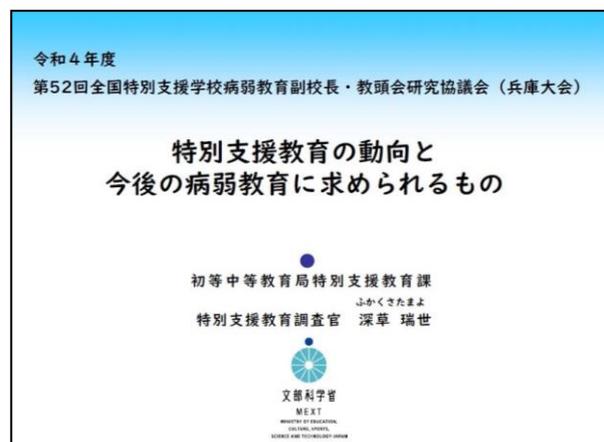
文部科学省特別支援教育調査官 深草瑞世様によるご講演「特別支援教育の動向と今後の病弱教育に求められるもの」、研究協議Ⅰ「入院者に係る高校生への支援」、研究協議Ⅱ「本校における学校経営上の課題～医療的ケアに関することについて」を通して、地域を超えて病弱教育現場の直面する課題を共有し、学びを深めることができました。また研究協議Ⅲでは、ブレイクアウトルームを利用してグループ協議を試みました。「新型コロナウイルス対策

を踏まえた学校運営」「病気や障害の多様化への対応」「病弱特別支援学校におけるセンター的機能」等のテーマに分かれ、画面越しではありますが、全国の学校間で意見交換できたのは3年ぶりのことでした。事後アンケートには、グループ協議の時間がもっとほしかったという意見が多く寄せられ、先生方がもっと交流を深め言葉を交わしたいと思っておられることをあらためて認識いたしました。

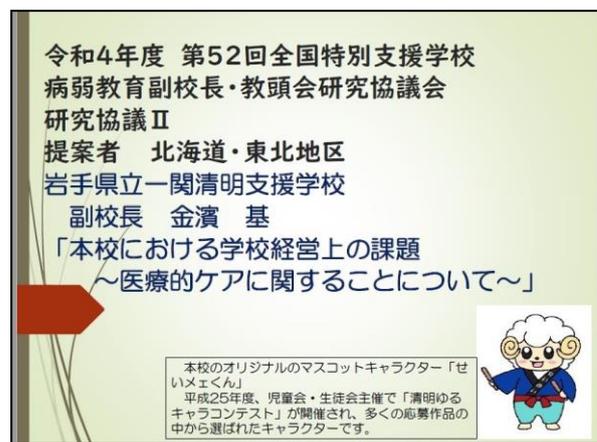
今後、社会状況の変化に伴って私たちの交流の仕方も変化していく（せざるを得ない）ことと思いますが、どのような形であれ繋がりを継続し、病弱教育に携わる学校間が支え合うネットワークを築いていきたいと思っております。



兵庫大会冊子



深草先生講演



研究協議

【全病頭兵庫大会実行委員会 実行委員長 浦本 佳子
(兵庫県立上野ヶ原特別支援学校さくら訪問学級 教頭)】

みんなのアート展



知事賞受賞作品
「わとくの巨人」

令和4年12月7日(水)～11日(日)、兵庫県立美術館において「みんなのアート展」を開催いたしました。今回で第18回を迎えた本作品展。ここ数年、感染症拡大の影響で少なくなっていた参加校も、今年度は県下の特別支援学校41校と、感染症拡大前の規模に戻ってきました。

ギャラリー棟の展示会場には、幼児児童生徒3,088名の制作した、創造性豊かな個性あふれる作品2,299点が展示され、鮮やかな色彩や独創的な造形が、来場者の関心を集めていました。最終日にミュージアムホールで開催された表彰式では、知事賞や兵庫県特別支援教育振興会会長賞など、受賞作品17点の表彰を行いました。感染症対策により、出席者数が制限された中での開催ではありましたが、受賞された皆さんやその関係者の方々の嬉しそうな姿が印象的でした。

会期中の来場者は1,058名と、こちらも昨年度よりも多くの方々に足を運んでいただきました。会場においては、多数の来場者の方々より、アンケートを通して「一人一人の楽しい・嬉しい・悩み・葛藤・色々な気持ちを、作品を通して感じました。」「具体的な物だけではない、抽象的、前衛的、個性的な物が多くとても参考になりました。」「その人にしか出せない色、その人しか出せない個性がみえているものに感銘を受けた。この感動は、このみんなのアート展

でしか受けられない、その者の特性でしか出せないものだと思う。」などの、嬉しいコメントもいただきました。

今後も、より多くの来場者のみなさまに、子どもたちが作り上げた作品の魅力を感じ取って頂けるよう、取り組んでいきたいと思っております。



会場の様子



表彰式の様子

【兵庫県特別支援学校等作品展実行委員会 事務局 田寺 典和
(兵庫県立のじぎく特別支援学校 教諭)】

令和4年度 賛助金・寄付金納入者ご芳名（順不同、敬称略）
ご協力ありがとうございました。（令和5年3月1日現在）

一般財団法人 兵庫県肢体不自由児者協会
兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課
兵庫県立特別支援教育センター
南あわじ市特別支援教育研究協議会
洲本市特別支援教育研究協議会
淡路市特別支援教育研究協議会
丹波篠山市小学校校長会
兵庫県立視覚特別支援学校
兵庫県立神戸聴覚特別支援学校
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
兵庫県立こばと聴覚特別支援学校
神戸大学附属特別支援学校
兵庫県立西神戸高等特別支援学校
兵庫県立阪神特別支援学校
兵庫県立むこがわ特別支援学校
兵庫県立芦屋特別支援学校
兵庫県立こやの里特別支援学校
兵庫県立阪神昆陽特別支援学校
兵庫県立高等特別支援学校
兵庫県立氷上特別支援学校
兵庫県立いなみ野特別支援学校
兵庫県立東はりま特別支援学校
兵庫県立北はりま特別支援学校
兵庫県立姫路特別支援学校
兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校
兵庫県立赤穂特別支援学校
兵庫県立西はりま特別支援学校

兵庫県立出石特別支援学校みかた校
三木市立三木特別支援学校
加西市立加西特別支援学校
小野市立小野特別支援学校
加古川市立加古川養護学校
兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校
兵庫県立神戸特別支援学校
兵庫県立のじぎく特別支援学校
兵庫県立和田山特別支援学校
兵庫県立上野ヶ原特別支援学校
尼崎市立あまよう特別支援学校
西宮市立西宮支援学校
伊丹市立伊丹特別支援学校
三田市立ひまわり特別支援学校
明石市立明石養護学校
姫路市立書写養護学校
宝塚市立養護学校
養父市立八鹿小学校
明石市立大観小学校
加西市立富田小学校
西宮市津門小学校
茅渚の浦学園
聖ミカエル兵庫幼稚園
有野台幼稚園
あけぼの幼稚園
しげる幼稚園
いるか幼稚園

岡野 由美子
中島 栄之介
紅山 修
梶 美由紀

和田 孫博
沖汐 守彦
長谷 照彦
北村 保子

森 麻里
小西 孝弘
稲次 和美
竹尾 英俊

宮本 あずさ
村井 壮大
三好 淳一

他

（ご了承いただいた方のみ お名前を掲載しています）

【ご賛同 よろしくお願ひします】

本会は、社会の理解と援助を得て、特別支援教育の振興を図ることを目的とした事業等を行っています。活動の趣旨に賛同いただき、一人でも多くの方のご協力をお待ちしています。

振込先：ゆうちょ銀行 口座番号 01110-8-71725

兵庫県特別支援教育振興会

※ 賛助金は、年1口500円です。

※移転先

住所：加東市山国 2006-107

兵庫県立特別支援教育センター内

TEL：0795-42-3449 FAX：0795-42-0140

編集後記

多くの皆様のご協力をいただき、会報第84号を発行することができました。心から感謝申し上げます。

県立特別支援教育センターの移転に伴い事務局が加東市に移ります。今後とも、本振興会へのさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。